

保坂 展人(ほさか のぶと)

世田谷区長(前衆議院議員・ジャーナリスト)

1955年11月26日宮城県仙台市生まれ。55歳。都立新宿高校・定時制中退。中学在学時の政治活動の自由をめぐり「内申書裁判」の原告として16年間たたかう。1980年代から教育ジャーナリストとして活躍し、「元気印」の造語を生むなど中高生から大きな支持を得る。

1985年に成城学園前に若者と子ども問題をテーマに事務所「青生舎」を移転。地域の教育問題・子ども問題の横断的なネットワークづくりに取り組む。1996年に学校、塾、PTA、若者グループなど幅広く区民を結集した「こどもいのちのネットワーク」(代表牟田悌三・事務局長保坂展人)を結成。発足イベントは用賀中学に500人を超える父母が集まり熱心に議論。これが、地域での子どもを支えるセーフティーネットとなり、『チャイルドライン』に発展した。

1996年に衆議院議員初当選。2000年に再選するも03年に惜敗。05年衆議院選挙・東京比例区で当選。2009年8月の衆議院選挙で議席を失うまで3期を務める。この間、世田谷区経堂駅前を拠点に1998年から東京6区の地域活動を開始。毎週土曜日には三軒茶屋キャロットタワー前で「国政報告」を10年間続けた。2008年の福田内閣当時、「政権交代」をめざすため民主党の小宮山洋子さんに選挙協力、東京8区(杉並区)に選挙区を移してたたかう。2009年8月総選挙では11万を超える支持を集めるも落選。2010年参議院選挙全国比例区で立候補したが次点。2011年4月の世田谷区長選では、立候補を求める市民の声を受け社民党を離れて無所属でたたかう決意を固め、当選した。

国会では、子どものための24時間電話「チャイルドライン」の実現や児童虐待防止法の制定に尽力し、「公共事業チェック議員の会」事務局長として「コンクリートから人へ」の先べんをつけるなどをした。また、546回を数える国会質問で「国会の質問王」(朝日新聞)と評された。(保坂のぶとHPより <http://www.hosaka.gr.jp/profile/index.html>)

黒崎 輝男(くろさき てるお)

流石創造集団株式会社CEO

1949年東京生まれ。早稲田大学理工学部応用物理学科卒業。「IDEE」ファウンダー。“生活の探求”をテーマに幅広くビジネスを展開。2005年流石創造集団株式会社を設立。廃校となった中学校校舎を再生した『世田谷ものづくり学校(IID)』内に、新しい学びの場『スクーリング・パッド』を設立。2009年自由に教え自由に学ぶ「自由大学」を開校。独自の視点で活動を行いデザインの枠を越えた世界観で“場”の状況を数多くプロデュースし続けている。社団法人北陸古民家再生機構、国際連合大学文化顧問などを努める。

【KUROTERU BLOG】<http://www.kuroteru.com/>

小林正美(こばやし まさみ)

- PROFILE 1977 東京大学工学部建築学科卒業/1979 同大学院修士課程修了/1979~85 丹下健三・都市建築設計研究所勤務/1987~88 フルブライト奨学金により米国留学 ハーバード大学大学院デザイン学部修士課程修了/1989 東京大学大学院博士課程修了/2002 ハーバード大学客員教授/2007~ カリフォルニア大学バークレー校客員研究員/現在 明治大学理工学部教授・工学博士 アルキメディア設計研究所主宰
- 委員等 国土交通省住宅局「デザインレビュー委員会」委員/兵庫県姫路市「コアゾーンなど整備検討懇話会」座長/東京都台東区景観審議会会長/神奈川県横須賀市景観審議会委員/日本建築学会都市計画本委員会委員/日本建築家協会世田谷地域会代表
- 受賞等 1999 岡山県高梁(たかはし)市町並みデザイン賞/2007 「国際文化会館の保存と再生」の功績により、日本建築学会賞(業績部門)受賞/2008 土木学会デザイン賞(最優秀賞)受賞
- 著書 「ポストン建築探訪」(1991 丸善)、「東京再生(東京インナーシティプロジェクト)」(2003 学芸出版社)など

野沢正光(のざわ まさみつ)

■PROFILE 1944 東京都生まれ/1969 東京藝術大学美術学部建築科卒業/1970 大高建築事務所/1974 野沢正光建築工房

■主な作品 いわむらかずお絵本の丘美術館(1998年栃木県マロニエ建築賞 1999年優良木造施設推奨審査優秀賞 2000年第三回木材活用コンクール最優秀賞林野庁長官賞 2002年JIA環境建築賞最優秀賞受賞)/2003年いわむらかずお絵本の丘美術館及びアトリエ棟(2006年木の建築賞受賞)/2007年木造ドミノ住宅(2007年GODD DESIGN賞、地域住宅計画賞(住まいづくり部門)、エコビルド大賞受賞)/立川市庁舎(2005年立川市新庁舎市民対話型2段階方式による設計者剪定競技1等 2011年プレストレストコンクリート技術協会作品賞)/2010愛農学園農業高等学校本館再生工事

■著書 『環境と共生する建築』(1993年、建築資料研究社出版) 『団地再生のすすめ』(2002年、共著 マルモ出版) 『住宅は骨と皮とマシンからできている』(2003年、農村漁村文化協会出版) 『地球と生きる家』(2005年、インデックス・コミュニケーションズ出版) 『パッシブハウスはゼロエネルギー住宅』(2009年、農村漁村文化協会出版)

市原出(いちはら いずる)

■PROFILE 1958 福岡生まれ/1981 東京大学工学部建築学科卒業/1983 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了/1983 宮脇檀建築研究室/1987 市原出建築設計事務所/1993 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了・博士(工学)/1994 東京工芸大学工学部建築学科・教授

■主な作品 1990 HOUSE XX(1988年“House of Cup 88-2”グランプリ受賞)/1995 IC-2(1995年SDレビュー入選)/2004 ORANGE(2004年インテリアプランニング賞 2004 建築技術教育普及センター理事長賞受賞)

■著書 「リビングポーチ -アメリカ郊外住宅の夢-」(単著、住まいの図書館出版局、1997年)、「ニューメキシコの建築 -石と土と光の教会-」(共著、丸善、2000年)、「建築デザイン計画」(共著、朝倉書店、2002年)、「建築論事典」(分担執筆、彰国社、2008年)、「建築の「かたち」と「デザイン」」(共著、鹿島出版会、2009年)、他

彦根 アンドレア(ひこね あんどれあ)

■PROFILE 1962 ドイツ・コンスタンツ生まれ/1987 シュトゥットガルト工科大学 首席修了(建築・都市計画)/1988 團・青島建築設計事務所入所/1989 磯崎新アトリエ入所/1990 株式会社彦根建築設計事務所設立(彦根明と共に)

■主な作品 2008 IDIC PS 岩手インフォメーションセンター(JIA環境建築賞 一般建築部門 最優秀賞 受賞)/2008 流・Ru 戸建住宅(木材活用コンクール 部門賞 受賞)/2009 曲・kyoku 戸建住宅(木材活用コンクール 優秀賞 受賞)/2010 風・Fuu 戸建住宅(JIA環境建築賞 住宅部門 優秀賞 受賞)

■著書 「ナチュラル・サステイナブル 生きる建築のすがた」(2009 鹿島出版会)「プランニングからディテールまで 最高の建築をつくるデザインのルール 300」(2011 株式会社エクスナレッジ)

鯨坂 徹(あじさか とおる)

■PROFILE 1957 名古屋生まれ/1981 早稲田大学理工学部建築学科卒業/1983 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了(建築史)/1983 三菱地所株式会社一級建築士事務所/2001 株式会社三菱地所設計 現在 JIA 再生部会長 JIA 関東甲信越支部都市デザイン部会長

■主な作品 1989 イムズ(1990年福岡市都市景観賞)/2004 明治安田生命ビル街区再開発(2007年BCS賞特別賞 第16回ACA賞 GODD DESIGN賞 作品選集 2008 2010年日本建築学会業績賞)/2005 フェリス女学院大学緑園体育館(平成17年神奈川建築コンクール奨励賞)/2006 オンワード樺山仙台支店ビル(せんだいデザイン・ウィーク大賞受賞 GODD DESIGN賞) 他

■著書 「街へ」(共著日刊建設通信新聞社)「日本の街を美しくする」(共著 学芸出版社)「オフィスの夢」(共著)